

# 平成23年度 事業報告

1. 平成23年度の当財団の基本財産運用収入は、0.697%の運用益となりました。

## 2. 啓発事業

### (1) 一般部門

①当財団のメイン事業である「とやま環境賞」の第16回表彰式を、平成24年3月10日（土）午前10時より富山テレビ本社ホールで開催し、下記の1個人・7団体を表彰しました。

#### 「優秀活動賞」

##### ○長谷川光一

永年にわたり、黒部川や名水を利用したイベントに積極的に取り組み、水辺や水のある地域づくりに大きく貢献している。

##### ○黒部名水会

永年にわたり、豊かな黒部の水資源の保全・啓発活動に努められ、地域における水文化の発展に大きく貢献している。

#### 「ジュニア活動賞」

##### ○入善町立上青小学校 文化財愛護少年団

多年にわたり「杉沢の沢スギ」の保全活動に携わり、自然環境保護の普及とその実践に大きく貢献している。

##### ○滑川市立田中小学校 5年生

蛍の飼育活動を通じ、自然の大切さ大事さを学び、全校で水にかかわる体験学習、環境学習の実践に大きく貢献している。

##### ○富山市立針原小学校 白鳥探検隊

白鳥の里づくりを通じて、地域とともに水辺の生き物やそのすみかを大切にする自然環境保全活動の実践に大きく貢献している。

##### ○富山市東部校下児童クラブ連絡協議会

多年にわたり、常願寺川での自然体験学習の実践に努められ、河川環境の保全に大きく貢献している。

##### ○富山第一高等学校 理科部

多年にわたり、常願寺川及び有峰での植物や土壌生物の調査・研究・発表を通じ水循環の健全化・保全活動に大きく貢献している。

##### ○富山県立砺波高等学校 理数科課題研究 生物班

DNAによるホタル・シロサケの分布調査・研究を実践し、地域の特性を十分踏まえた環境保護の必要性を提言され、水環境の健全化に大きく貢献している。

この表彰式の様子は富山テレビ放送で放送されました。また、それぞれの活動の様子は受賞者紹介の企画ニュースとして、夕方の「BBTスーパーニュース」で

一週間にわたり放送されました。

- ②次世代を担う子供たちへの科学的理解の推進を目的にテレビ番組「～水を追って～」を30分番組として制作し、3月24日（土）に放送しました。

温暖化の影響で海水面が上昇、世界の海の水質にも微妙な変化が現れています。地球環境への最悪のシナリオを回避するため、今、世界中の海洋学者たちが連携、解決の糸口を模索しています。

そのうちの一人、富山大学理学部・生物圏環境化学科の張勁（ちょう・けい）教授の調査に密着し、硫黄が流出している台湾沖の海底や環境が悪化し始めた富山湾の様子を紹介しました。

- ③当財団と富山テレビ放送で「映像詩とやま・水のある風景」を5分番組として毎週2回、年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。

- ④当財団と国土交通省立山砂防事務所の主催による第15回「SABO体験楽校」を8月9日（火）～8月11日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生10名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

### 3. 普及事業

#### (1) 普及広報活動

- ①国土交通省 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所と共催で「川の絵画コンクール」を開催し、11月11日（金）に富山河川国道事務所表彰式を行いました。

今年度は県内全域の小学生から5,706点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。

- ②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」をトヨタ白川郷自然学校の協力を得て8月20日（土）、21日（日）の2日間、16組32名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。

- ③富山県ひとつづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2011」を実施しました。

県内各地での小学生の水に関する環境活動の研究成果は、富山テレビ放送で12月29日（水）に60分番組として放送されました。

- ④「里山の植物観察会～親子で学ぶ身近な薬草～」を10月9日（日）富山市割山森林公園天湖森で実施。10組26名の親子が参加し、園内で自生している230種を超える植物の中から約60種類の薬草を観察しました。

#### (2) 催事・研究助成

- ①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。

- ②日本黒部学会に賛助金を助成しました。